

# ペンテコステ礼拝

教会学校との合同礼拝

2026年5月24日 10時20分～

司式: 奏楽:

## 《神の招き》

前奏 『来たれ聖霊、わが主(讃美歌341番)』 M.デュプレ/高田春彦  
シンボル奉献 教会学校

招詞 ヨエル書3章1節  
賛美歌 342

## 《神の言葉》

祈禱 聖霊の照らしを求める祈り  
聖書 ヨシュア記1章1～9節 (旧約325頁)  
使徒言行録2章1～11節 (新約210頁)

子ども説教・教会学校奉唱

交読詩編 詩編122編6～9節 (153頁)

賛美歌 346

説教 「うれしいペンテコステ」 八木浩史牧師

祈禱  
賛美歌 特別曲『もしも(有一天)』

## 《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条

献金

祈禱 献金当番

主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

聖餐 376 配餐:

## 《派遣》

頌栄 28

祝福

報告

後奏 『神の息よ(讃美歌I-177番)』 高田春彦

## 「うれしいペンテコステ」

『ヨシュア記』では、モーセの死後、ヨシュアがイスラエルの新しい指導者として立てられる場面です。ヨシュアは、ヨルダン川を渡り、与えると約束された土地へ民を導くよう主に命じられます。律法を忠実に守り、絶えず口にし、昼も夜もその教えに従うなら、行く先々で道は開かれ成功するとも約束されるのです。主は「強く、雄々しくあれ。恐れてはならない、おののいてはならない」と励まされます。その根拠はヨシュア自身の能力ではなく、「あなたがどこに行っても、あなたの神、主があなたと共にいる」という神の臨在によるのです。

『使徒言行録』は、聖霊降臨の場面です。弟子たちは復活された主イエスに命じられたとおりに、エルサレムに留まり続け、聖霊が送られるのを祈りつつ待っていました。五旬祭(ペンテコステ)の日に、弟子たちが座っていた家中に、激しい風の音が響き、一人一人の上に、炎のような舌が現れます。すると一同は聖霊に満たされて、他国の言葉で「偉大な神の業」について語り始めたのでした。エルサレムには、世界各地から来ていたユダヤ人たちがいて、それぞれの故郷の言葉によって、「偉大な神の業」を聞くことができたのです。戸惑う人々に対して、ペトロは11人の弟子たちと共に立ち上がり、福音伝道を開始します。こうして最初の教会が誕生するのです。さらに弟子たちは、聖霊によって世界中に送り出され、主イエスの救いを力強く宣べ伝えて行きます。その働きには多くの試練がありましたが、弟子たちは伝道を止めることはなかったのです。「あなたがどこに行っても、あなたの神、主があなたと共にいる」と、主なる神がヨシュアに約束されたように、主なる神は聖霊によって、主を信じる者がどこに行っても、共にいてくださり、信仰による喜びを与えてくださるのです。

礼拝当番: (役員: ) 献金当番:  
音響: 映像: